

全国福祉高等学校長会主催
平成 27 年度 第 1 回 社会福祉・介護福祉検定

3 級 問 題

(50 分)

◎指示があるまで開けないでください。

注 意 事 項

- 1 解答用紙への受験番号等の記入
解答用紙に、受験番号、学校名、クラス、氏名を記入してください。
- 2 試験問題数は 150 問です。解答時間は 50 分です。
- 3 解答方法
 - (1) 各問題について、正しい文章であれば○、間違っている文章であれば×を解答欄に記入してください。
 - (2) 一度解答したところを訂正する場合は、消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。
- 4 その他の注意事項
 - (1) 印刷不良やページが抜けている場合は、手を挙げて試験監督の先生に連絡してください。
 - (2) 問題の内容についての質問には、一切お答えできません。

問題番号	問 題
1	自助とは,自ら努力して,働いたり,収入を増やしたりして,問題を解決することをいう。
2	所得の額に応じて,サービスを利用する際の負担額が変わることを応能負担という。
3	精神保健福祉士とは,精神障害者の社会復帰に関する相談助言などを行う専門職である。
4	1987年に社会福祉士法及び介護福祉士法が制定された。
5	2008年に文部科学省は,「介護の日」11月11日を設定した。
6	日本国憲法第25条には,「すべて国民は,健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定されている。
7	日本国憲法第14条第1項は,国民の生存権を規定している。
8	ノーマライゼーションの考え方は,障害者福祉の分野から広がった。
9	ユニットケアとは,利用者がプライバシーや生活のリズムを保つための個室を確保し,個別ケアを実現するための手段であるため,個室以外のスペースはない。
10	ノーマライゼーションの考え方によって,自立とは他者からの支援を有効に活用し,社会のなかで生活し,生きていくための主体的な能力を培うものといった考え方が広まっている。
11	バイステックの7原則は,対人援助に従事する人の基本姿勢を示したものであり,秘密保持の原則は含んでいない。
12	介護福祉士の倫理綱領は,「社会福祉士及び介護福祉士法」において定められている。
13	歩行により生活空間を広げることは難しく,生活が面から点となる。
14	麻痺がある場合,麻痺側のひざ折れはふらつきや転倒につながるため,立ち上がる時は利用者のひざと介護者のひざを合わせて固定し,ひざ折れを防ぐ。

問題番号	問 題
15	食事の時の姿勢は、誤嚥を防ぐために仰臥位にする。
16	聴覚障害者の食事を介助する時には、クロックポジションを用いて位置関係を知らせる。
17	女性は、排せつ時に尿が後ろに回ることを配慮して、後ろ部分に尿取りパッドや紙おむつを重ねて厚くする。
18	ストマ保有者(オストメイト)のほとんどは、自分で便の処理ができる。
19	S状結腸人工肛門では、便は固まっており、排便回数は少ない。
20	日本式の座位入浴は身体にかかる水圧が高いため、心臓などの循環器系にかかる負担が大きい。
21	2008年から、FTA(経済連携協定)にもとづくインドネシアとフィリピンからの介護人材の受け入れが始まった。
22	介護事業所で働く人は男性と女性がほぼ同数である。
23	介護事業所で働く人の保有資格は介護福祉士が一番多い。
24	介護を通じたコミュニケーションは、信頼関係(ラポール)形成の基盤であり、介護の質の向上に必須である。
25	高齢者の健康は短期間で損なわれ、廃用症候群(生活不活発病)などの悪循環に陥りやすい。
26	介護保険制度のサービスを利用するためには、支援や介護が必要となった高齢者本人などが都道府県に要介護・要支援認定の申請を行う。
27	介護支援専門員(ケアマネジャー)は、月に1回利用者宅を訪問して状態を確認する「モニタリング」を行う。
28	地域密着型サービスは、2006年から実施されており、認知症高齢者や一人暮らしの高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう支援することを目的としている。

問題番号	問 題
29	老人福祉法に規定されている特別養護老人ホームは、介護保険法では介護老人保健施設として指定を受ける。
30	障害者総合支援法によるサービスには、大きく分けて自立支援給付と地域生活支援事業の2つがある。
31	行動援護とは、重度の視覚障害者の外出に同行するサービスである。
32	生活介護とは、常に介護を必要とする人に主に昼間障害者支援施設などで入浴、排せつ、食事の介護などを行うサービスである。
33	就労移行支援とは、通常の事業所に雇用されることが困難な人に働く場を提供すると共に、知識や能力の向上のために必要な支援を行うサービスである。
34	介護支援専門員(ケアマネジャー)は、要介護者やその家族などからの相談に応じ、介護サービス計画(ケアプラン)を作成する。
35	社会福祉士は、生活支援を担う相談援助職として生活場面での面接の活用が期待されている。
36	日本国憲法第25条の規定にもとづき、社会保障の範囲として、社会保険、国家扶助、公衆衛生および医療、社会福祉の4分野をあげている。
37	わが国の社会保障給付費を「年金」、「医療」、「福祉その他」という3部門の推移でみると、現在は「医療」が最も多い。
38	社会福祉のサービスには、家庭や地域社会での生活を支援する施設福祉サービスがある。
39	福祉事務所は、市町村に必ず設置されている。
40	障害者は障害者基本法で定義されている。
41	自立生活運動(IL運動)は、1960年代にアメリカの重度障害のある大学生が、他の大学生と同じように病院を出て、地域で生活したのが始まりである。
42	公的なサービスを希望する身体障害者は、身体障害者手帳の交付を受けなければならない。

問題番号	問 題
43	障害者総合支援法は,2012年に障害者自立支援法の改正により制定され,2013年より施行されている。
44	知的障害者福祉法には知的障害者の定義が明記されている。
45	特別児童扶養手当は,20歳未満の在宅の重度(1級)または中度(2級)の障害児の養育者に支給される。
46	PTSD(心的外傷後ストレス障害)は,自然災害,激しい事故などの後に,無感覚や感情鈍麻,夢のなかで再体験が起こるなどの症状が出る障害である。
47	退院ができるのに入院を余儀なくされているものを社会的入院という。
48	日本の高齢化率は世界一である。
49	地域包括支援センターには,保健師,医師,主任介護支援専門員(ケアマネジャー)が配置されている。
50	成年後見制度には,法定後見制度と任意後見制度がある。
51	社会福祉の援助活動では,一般に何らかの生活課題や生活問題を抱えている人を当事者という。
52	話しかけても反応がない利用者に対しては,コミュニケーションをとる必要はない。
53	よい介護関係は,介護をする人と受ける人のよい人間関係が基本である。
54	利用者の理解をするためには,その人の現在の状況のみを参考にして考える。
55	サービス利用に関する情報は,質より量で多くの情報を提供することが重要である。
56	非言語的コミュニケーションは言葉によらないコミュニケーションで,態度や表情,身振りや手振り,視線,服装,相手との距離,声の様子などを含む。

問題番号	問 題
57	ICTとは情報通信技術のことで、情報や通信、コミュニケーションに関する技術一般の総称である。
58	介護が必要な方に対するの援助活動は、利用者ができないことに注目し支援を行う。
59	利用者を受容するときには、性格も訴えも、すべてを受け入れ、ありのままの姿を理解し関わろうとする姿勢を向けることが重要である。
60	個別援助技術(ケースワーク)で重要な社会資源とは、社会福祉サービスのことである。
61	ピアジェは、幼児期までの間に口唇期などのいくつかの発達段階を経て、パーソナリティの基礎がつくられ、それぞれの時期にどれだけ欲求が満たされるかで性格が異なってくると考えた。
62	老化とは、成長がピークに達した後の退行期の変化をさす。
63	「エイジズム」という言葉を最初に使ったのはパルモアである。
64	人間が持っている恒常性とは、生物が内部・外部環境の変化に合わせて自己調整し、常にかからだの安定を保とうとする状態をいう。
65	加齢による聴力の低下は、低音域の聞き取り困難を引き起こす。
66	加齢による腎血流量の低下や尿の濃縮力の低下は、排尿の異常、排尿困難、脱水などを引き起こす。
67	加齢により、流動性能力、結晶性能力ともに急速に低下する。
68	老人福祉法は、老人の福祉をはかることを目的とし、その心身の健康の保持や生活の安定のために必要な措置について定めた法律で、1963年に制定された。
69	高齢者は若年者に比べると予備力が低下しているため、さまざまな環境に適応しにくく、病気にかかりやすくなり、回復にも時間がかかる。
70	不活発な生活や安静を続けることによって生じる、関節の拘縮、筋萎縮、尖足や褥瘡(床ずれ)などの局所部分の機能低下を廃用症候群という。

問題番号	問 題
71	脳血管性認知症の症状は、徐々に悪化する。
72	認知症は、種類や進行の程度によって症状の現れ方は異なることがあるが、もの忘れや記憶障害を特徴としている。
73	認知症の周辺症状には、記憶の障害、時間・場所などがわからなくなる、衣類の着方がわからなくなる、文字が書けなくなる、判断ができなくなる、などがある。
74	小規模多機能型居宅介護は、宿泊は認められていない。
75	認知症高齢者は、記憶障害があっても、周辺症状への対応により生じる不安や怒り、喜びや満足などの感情は保たれるため、認知症を理解した介護が重要となる。
76	「セラピー」とは、日常の活動を意味する言葉である。
77	認知症が社会的に大きく取り上げられるようになったきっかけは、1972年に有吉佐和子による「恍惚の人」の出版である。
78	認知症介護は1970年代までは在宅が中心で、家族の介護負担がとて大きかった。
79	正常な物忘れは、次第に悪化し、行為の全てを忘れてしまうことが多い。
80	1989年12月に高齢者保健福祉推進十か年戦略(通称ゴールドプラン)が策定され、保健福祉サービスが計画的に整備され始めた。
81	ユニットケアとは、入居者個々の尊厳を重視し、個人の「自律」を尊重するため、施設の居室を1ユニット20人以下のグループに分け、それぞれをひとつの生活単位としたものである。
82	徘徊、妄想、不安、興奮、攻撃など、記憶障害に伴う認知症に特有な行動・心理症状(BPSD)を中核症状という。
83	認知症の初期には、自分の不安な気持ちやいらだち、苦悩などを訴えることがあるが、進行性の疾患ではないため、比較的適切に伝えることができる。
84	グループホームは、15～20人を単位とした共同住居で、食事や掃除、洗濯などをスタッフと利用者が共同で行い、家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活することができる。

問題番号	問 題
85	認知症高齢者の数は、後期高齢者の増加と共に増え続け、2040年には350万人をこえるとも予想されている。
86	2001年5月に、世界保健機関(WHO)は障害を理解する世界共通のモデルとして国際障害分類(ICIDH)を承認した。
87	2011年8月の障害者基本法の改正では、障害者は「身体障害,知的障害,精神障害(発達障害を含む。)その他の心身の機能の障害がある者であつて,障害及び社会障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるもの」と定義された。
88	近年では、「包含」を意味するノーマライゼーションという考え方が普及している。これは障害の有無にとらわれず,個人のニーズに応じた支援や援助の必要性を強調したものである。
89	リハビリテーションの分野には,医学的リハビリテーション,職業的リハビリテーション,教育的リハビリテーション,社会的リハビリテーションがある。
90	身体障害者福祉法では,身体障害者を「別表に掲げる身体上の障害がある18歳以上の者であつて,市町村長から身体障害者手帳の交付を受けたものをいう」と定義されている。
91	聴覚障害とは,音が十分に聞こえない,言葉を十分に聞き分けられない状態をいい,生まれつき聞こえない場合が多い。
92	脳性麻痺には,片麻痺などの運動障害や,口の周辺の麻痺による言語障害,麻痺した側の感覚がにぶくなる感覚障害などがある。
93	学習障害は,自分をコントロールする能力が弱く,注意力や集中力に欠ける(注意欠陥),じっとしてられない(多動性),突然何かをしてしまう(衝動性),という特徴が見られる。
94	近年,障害者を理解するには,その人の病気や障害のみに着目するのではなく,ストレングス(本人の性格,得意分野,関心ごと,本人をとりまく環境)に着目する必要性が強調されている。
95	厚生労働科学研究難治性疾患克服研究事業の対象疾患は,140疾患である。
96	難病には,パーキンソン病・全身性エリテマトーデスなどの病気がある
97	2010年には肝臓機能障害が新たに内部障害に含まれることになった。
98	精神障害者保健福祉手帳の障害等級は,1級から6級である。

問題番号	問 題
99	地域で生活している身体障害者の4割が65歳以上であり,身体障害者障害程度等級が重度の1級と2級の障害者で半数を占める。
100	精神保健福祉に関しては,精神保健福祉士が社会福祉専門職として,心の健康に関する相談や精神障害者の自立支援を行っている。
101	グルカゴンは,膵臓のランゲルハンス島のB細胞から分泌され,人体で血糖を下げる唯一のホルモンである。
102	延髄には,感覚神経の中樞である視床と,自律神経の中樞である視床下部がある。
103	骨格筋は, 100種類あり, 重さは体重の60%である。また, 骨格筋はからだを動かす筋肉であり, 自分で動かすことのできる不随意筋である。
104	胃は, 入り口を幽門, 出口を噴門という。
105	食事, 排せつ, 入浴, 更衣, 移動, 整容などの基本的な日常生活動作(ADL)のなかでも移動は, 他の身の回りの動作を行うために欠かせない動作である。
106	食事は生存するための基本的な生理的欲求である。
107	汗は, 血液からつくられる。
108	尿は, 血液が腎臓でろ過されてつくられる。
109	睡眠中には, 副交感神経のはたらきが増し, 心身が休息できる。
110	感染は,病原体によって宿主(人間)に感染症が発生する状態をいい,感染源,感染経路,宿主の3つの要素から成り立つ。
111	消毒は,感染源である微生物の感染性をなくしたり,数を減少させることができる。対象物にかかわらず消毒方法は同じである。
112	呼吸停止,心拍の停止,瞳孔反射の消失の3兆候によって医師が死亡を判定する。

問題番号	問 題
113	発熱は細菌やウイルスなどの発熱物質により体温調節中枢が刺激され、体温の調節レベルが高温に設定された状態である。
114	飲食物や唾液などが誤って鼻腔に入った状態を誤嚥という。誤嚥により肺炎（誤嚥性肺炎）を起こして入院することも多いので、細心の注意が必要である。
115	声は呼気で声帯をふるわせることによって生じる。
116	網膜の錐体細胞は明暗を感知し、杆体細胞は明るい場所で色を感知する。
117	ネフロンは、尿を生成する機能を持ち、ひとつの腎臓に約100万個ある。
118	高齢者の住居環境整備を行う際は、建築物等のソフト面の環境整備だけではなく、人的支援サービスなどハード面の環境や地域資源と連動した生活支援を行うことが必要である。
119	高齢者の家庭内事故による死亡者は減少している。
120	家事は賃金が発生しないアンペイドワークであるため、日々の生活のなかで意識されないことが多い。
121	高齢者は咀嚼する力が低下することはあっても味覚が鈍感になることはない。
122	ドライクリーニングとは水と洗剤で汚れを落とす洗濯のことである。
123	スカートやズボンの裾ほつれなどの補修に使う縫い方を並み縫いという。
124	シーツの素材は、吸湿性に優れているポリエステルのものがよい。
125	身じたくとは、生命維持に直結した行為ではないが、人に不快感を与えないために大切な行為であり、自信を持って他者と積極的にかかわるための原動力としても重要な意味を持つ。
126	朝の洗面は、生活のリズムをつくるうえでも、身だしなみの面においても重要であり、できるだけ自分でやれるように環境を整えることが大切である。

問題番号	問 題
127	口腔ケアの目的は、歯磨きやうがいにより歯垢を除去し虫歯や歯周病を予防すると共に、誤嚥性肺炎をはじめとする感染症を予防することである。
128	バスに乗って買い物に行く、炊事や洗濯をする、掃除をする、家計を管理するなどの生活関連動作は、手段的日常生活動作(IADL)と呼ばれている。
129	「良肢位」とは、関節がある位置で可動性を失った場合にも、日常生活を送るうえで最も支障が少ない肢位をいう。
130	ボディメカニクス活用の基本原則の中に支持基底面積を狭くし、からだを安定させるという原則がある。
131	ベッドの横に足を下した姿勢をファーラー位という。
132	車いすの坂道での介助方法は、上り坂は前向きでゆっくり登り、急な下り坂は、後ろ向きにしてゆっくり下りる。
133	食事は、栄養を摂取するだけでなく、積極的に生きる生活の質(QOL)を高めるうえで大切な役割を担っている。
134	誤嚥予防のための正しい食事姿勢は、仰臥位とし麻痺側を下にするとよい。
135	水分は最も誤嚥しにくいので、お茶や水、味噌汁やスープなどはとろみをつける必要はない食品である。
136	入浴や清拭は、からだを清潔に保つだけでなく、血行促進や新陳代謝を促す生理的な意義がある。
137	介護従事者は浴室や脱衣所の温度、浴槽のお湯の量や温度の調節を行う必要はない。
138	麻痺がある場合は麻痺側の感覚が健側と異なり、痛みや温度感覚が低下している。そのため、熱いお湯によるやけどには注意する必要がある。
139	疥癬はヒゼンダニによって起こる皮膚疾患であり、特有の皮膚症状を示す。入浴は、順序を最後にして全身をていねいに洗う。
140	排尿を試みるが尿排泄が困難な状態を尿閉、膀胱内に尿が充満しているにもかかわらず排尿ができない状態を排尿困難という。

問題番号	問 題
141	ベッド上で便器で排せつする場合は、便器の上でからだを安定するように仰臥位にし、膝が屈曲した状態とする。
142	通常の便の水分は70%程度であるが80%になると泥状便、90%になると水様便となる。
143	嵌入便の場合は摘便が有効である。摘便は、医師・看護師・介護福祉士などが判断、実施する。
144	便器を用いた床上での排泄介助で、女性の場合は尿が飛び散らないように陰部にトイレットペーパーをかける。
145	レム睡眠は、からだは深く眠っているのに脳が起きている状態の浅い眠りで、夢を見る、呼吸や脈拍が不規則であるという特徴がある。
146	レム睡眠は新生児では総睡眠時間の約50%を占めるが、その後減少し、高齢者では15%程度となる。
147	良質な睡眠を得るためには寝室の環境として、夏は温度18～23℃、湿度50%、冬は温度25℃前後、湿度50～60%程度が適切である。
148	自分で寝返りが打てない場合は、同一体位による苦痛や圧迫による循環障害をきたしやすいため、少なくとも2時間に1回は体位変換を行い、安楽な姿勢にする。
149	手背は皮膚が薄いので、シーツ交換の際は手背を下にしてシーツをマットレスの下に入れる。
150	レクリエーション計画は、日常、週間、さらには毎月の行事や毎年の大きな行事などを盛りこんで総合的に作成する必要はない。

全国福祉高等学校長会主催 平成27年度 第1回 社会福祉・介護福祉検定 3級 解答用紙

受験番号		学校名	
クラス	年 組 番	氏名	

	解答欄		解答欄		解答欄		解答欄		解答欄		解答欄		解答欄		解答欄		解答欄		解答欄
1	○	16	×	31	×	46	○	61	×	76	×	91	○	106	○	121	×	136	○
2	○	17	○	32	○	47	○	62	○	77	○	92	×	107	○	122	×	137	×
3	○	18	○	33	×	48	○	63	×	78	○	93	×	108	○	123	×	138	×
4	○	19	○	34	○	49	×	64	○	79	×	94	○	109	○	124	×	139	○
5	×	20	○	35	○	50	○	65	×	80	○	95	×	110	○	125	○	140	×
6	○	21	×	36	○	51	○	66	○	81	×	96	○	111	×	126	○	141	×
7	×	22	×	37	×	52	×	67	×	82	×	97	○	112	○	127	○	142	○
8	○	23	×	38	×	53	○	68	○	83	×	98	×	113	○	128	○	143	×
9	×	24	○	39	×	54	×	69	○	84	×	99	×	114	×	129	○	144	○
10	○	25	○	40	○	55	×	70	×	85	○	100	○	115	○	130	×	145	○
11	×	26	×	41	○	56	○	71	×	86	×	101	×	116	×	131	×	146	○
12	×	27	○	42	○	57	○	72	○	87	○	102	×	117	○	132	○	147	×
13	×	28	○	43	○	58	×	73	×	88	×	103	×	118	×	133	○	148	○
14	○	29	×	44	×	59	○	74	×	89	○	104	×	119	×	134	×	149	×
15	×	30	○	45	○	60	×	75	○	90	×	105	○	120	○	135	×	150	×

①1～15の得点	②16～30の得点	③31～45の得点	④46～60の得点	⑤61～75の得点	⑥76～90の得点	⑦91～105の得点	⑧106～120の得点	⑨121から135の得点	⑩136から150の得点
----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	-------------	--------------	--------------

①～⑩の合計
/150